

科目番号	2	科目名	地理学からの問い	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	安藤 哲郎		(教育 学部 准教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場	大津キャンパス	
授業期間	2022 年 10 月 3 日 (月) ~ 2023 年 1 月 23 日 (月) <毎週 月曜日> 4 時限・講時 14 : 30 ~ 16 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)		100	%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 ()			%
別途負担費用	なし	あり () 円		
その他特記事項	本授業では、特に事後学習として、授業内容に関わる場所でフィールドワークを行うことが望ましい。授業を復習して足を運ぶことにより、概ね各授業につき4時間の学習となる。			
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】				
テーマ: 地理を活かした近江の旅の創造				
<p>近江は長く都に近接していたことや交通の要所であったことなどから、歴史の主舞台となってきた。そのため史跡も多く、見るべきポイントも多岐にわたる。したがって、これらを訪れて学習することにより、近江の歴史地理的な理解ができるだけでなく、日本の歴史を多面的に理解することにも通じるものとする。</p> <p>しかし、史跡等が分散していることや交通の便などの理由から、隣接する京都に比べて、旅の目的地として足を運ばれる機会に恵まれていない(京都は京都で、数が多く密集していることが問題となるのではあるが)。</p> <p>そこで、本授業では、時間的あるいは空間的なテーマ性を持った近江の旅を担当教員から紹介しつつ、受講生にもそのような旅を創造し、できれば提案してもらうことを通じて、近江を歴史地理的に理解することを目的とする。授業では、地形図や写真、史資料等を用いつつ、通史的に学んでいく予定である。</p>				
本授業は対面で実施する。オンライン授業となる場合にはSULMS(学習管理システム)を活用する。				
【授業の到達目標】				
滋賀県内、あるいは隣接府県の滋賀県・近江国と関係した場所を、自分の力でフィールドワークできるようになることを目標とする。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月3日	イントロダクション —地理学から歴史を考え、そして近江の旅へ—		
2	10月10日	身近に回る近江の旅① —平津・石山寺の周辺地域をめぐる—		
3	10月17日	身近に回る近江の旅② —彦根の城下町をめぐる—		
4	10月24日	古代の都となった近江		
5	10月31日	古代の近江 —弥生・古墳時代—		
6	11月7日	古代近江の旅③ —仏教世界と近江—		
7	11月14日	中世近江の旅① —佐々木氏と近江—		
8	11月21日	中世近江の旅② —諸勢力と近江—		
9	11月28日	近世近江の旅① —天下統一事業と近江—		
10	12月5日	近世近江の旅② —徳川幕府と近江—		
11	12月12日	近世近江の旅③ —近江の宿場町—		
12	12月17日	近世～近代近江の旅 —近江商人の町—		
13	12月19日	近代近江の旅 —近代遺産をめぐる—		
14	1月16日	京都とのつながりで考える近江の旅		
15	1月23日	「近江の未来」を考える旅		
<教科書・参考書>				
特になし				